



平成29年度 小久保保育園

●子育てについてのアンケートご協力ありがとうございました●

今回のアンケートを読ませて頂き、当園におきましても沢山の愛情で子育てのお手伝いが出来ればと改めて感じました。やはりここで言えるのは、親の愛情がお子さんにとって一番だと思います、ここでの親の愛情とは、過干渉になる事ではなく、なるべく一緒にいてあげる事、子どもをけむたがらないで時間のある時はそばにいてあげること、親からの沢山の愛情が、お子さんの園生活の励みになり、そして、将来の希望へと繋がると感じました。その他沢山の意見を頂きました、職員で話合いなるべく反映していきたいと思っております。ありがとうございました。

【心のエッセンス】

●子は親の鏡●

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



ドロシー・ロー・ノルト Dorothy Law Nolte

1924年1月12日生まれ。ロサンゼルス出身。ミネソタ州立大学卒。

40年以上にわたって家族関係についての授業や講演を行い、家庭教育や子育てでコンサルタントを務めた。

著書『子どもが育つ魔法の言葉』（1998年刊・アメリカ）は、22カ国語に翻訳され、世界中で多くの共感を呼び、ミリオンセラーとなった。詩「子は親の鏡」は37カ国語に翻訳された。

親子の問題をあたたく見つめるまなざしや長年の経験に裏打ちされた子育てに対するあたたかい言葉は国境を越え、世界中で愛されている。